

令和3年度（2021年度）
第2回基本評価等専門委員会
会 議 録

日 時：令和3年（2021年）8月5日（木） 10:00～10:30
場 所：リモート開催のため任意
（事務局：道庁本庁舎9階 職員監交渉室）

【出席者】

区 分	氏 名	所 属 団 体 等
委員長	石井 吉春	北海道大学客員教授
副委員長	水島 淳恵	小樽商科大学商学部経済学科教授
委 員	内田 賢悦	北海道大学大学院工学研究院教授
委 員	嘉藤 裕一	公募委員
委 員	武岡 明子	札幌大学地域共創学群教授
委 員	村上 愛	北海学園大学法学部法律学科教授
委 員	村上 裕一	北海道大学大学院公共政策学連携研究部准教授
委 員	渡部 要一	北海道大学大学院公共政策学連携研究部教授

【事務局(北海道)】

北海道総合政策部計画局計画推進課長

川村 秀明

ほか

1 開 会

2 議 事

(1) 令和3年度 基本評価・特定課題評価について

(事務局より資料1～資料4に基づき説明)

【石井委員長】

- ・ 今年度から新たに実施する政策の評価は、各委員の希望を踏まえて担当を決めたところ。具体的な手法については、新型コロナウイルス感染症の影響等を踏まえて、ヒアリングや現地調査は必要に応じて実施することとしている。評価をどのように定着させるかも重要であり、事務局や委員相互で必要に応じて情報共有しながら進めていきたい。
- ・ 特定課題評価は、昨年度の見直しの結果を踏まえて、今年度、全庁的な観点からテーマ選定の仕組みを検討するとしている。
- ・ 事務事業評価は、今年度、全ての事業を評価し、政策の重要課題の視点でも評価することで現状の把握とともに必要な意見等を付与するとしている。

【村上（裕一）委員】

- ・ 特定課題評価については、前回の委員会でも、全庁的な観点から政策課題を選定する仕組みを検討するとあったが、今後のスケジュール観を伺いたい。
- ・ また、包括外部監査や行政監査との棲み分けを図るという意味では、特定課題評価のテーマには、今年度の事務事業評価にもあるような、ゼロカーボン北海道の実現、Society5.0の実現等、ポストコロナを見据えた今後の政策展開の方向性の観点が入り得ると思うが、今後の検討の方向性についても併せて伺いたい。

【石井委員長】

- ・ 特定課題評価は、今年度はテーマ選定の仕組み等について検討し、来年度以降の運用についても踏み込みたいと思っている。
- ・ 政策評価では、単に悪いものを見つけるだけではなく、特に現在のような政策が大きく変わる時期には、政策上、重要な課題にも目配りをする側面も必要と思っている。
- ・ 今年度は事務事業評価で重点課題の視点から点検し、取組として過不足があれば、特定課題評価のテーマとして、2～3年かけて改めて点検することもあり得るかと思っている。
- ・ 各委員においても、テーマ設定や評価の仕組みについて検討いただき、今後、議論していきたいと考えている。

【事務局】

- ・ 今後のスケジュールであるが、政策評価結果については、例年、11月に議会報告しており、10月下旬～11月上旬に政策評価委員会を開催しているところ。
- ・ 今年度は、新たに政策の評価を行うことに加え、事務事業評価についても全ての事業を点検するとしており、例年と比較して作業量が多いため、まずは評価結果のとりまとめに注力し、特定課題評価の検討については、その後に改めて機会を設けて、説明したいと考えている。

【石井委員長】

- ・ 政策の評価は各委員が担当して進めていくとしているが、委員相互の情報共有や連携が必要な場合もあると思うので、事務局への相談のほか、場合によっては、私に相談して欲しいと思っている。

《その他意見等なし》

3 その他
特になし

4 閉 会